

平成 19 年度京都大学エネルギー理工学研究所
第 1 回ヘリオトロン J 双方向型共同研究委員会議事録

日 時：平成 19 年 6 月 28 日（木）午前 1 時～ 2 時 15 分

場 所：エネルギー理工学研究所 北 4 号棟 4 階 小会議室

出席者：北島純男、中嶋洋輔、武藤敬、岡村昇一、岸本泰明、政宗貞男、福田武司、佐野史道、水内亨、岡田浩之

欠席者：西野信博

オブザーバー：近藤克己、花谷清、山本聡

議事

1. 準備会合議事録（案）について

佐野委員長から、昨年 8 月に行われた準備会合議事録案について説明があり、今回から始まる委員会の参考にしていただくよう説明があり、了承された。

2. 委員会要項（案）について

岡田幹事から委員会要綱案について説明があり、次のような意見が出された。

1. 「双方向型研究」は「双方向型共同研究」に統一する。
2. 「教育研究」を「研究教育」に統一する。
3. 組織の人数は若干人であるのに第 4 条の「欠員」の概念はいかに。
4. 第 1 条のヘリオトロン J 実験会議の定義および組織の定義があいまい。
5. 副委員長の職務として、「議長に不測の事態があったときは議長を務める」を入れるべし。
6. センター長を含めた全体の組織図が必要である。

3. 会員名簿について

佐野委員長から、会員名簿について説明があり、了承された。

4. 平成 19 年度ヘリオトロン J 双方向型共同研究の推進方策について

4. 1 公募採択について
4. 2 予算計画について
4. 3 実験計画について
4. 4 次年度計画の策定について

4 . 5 中・長期の双方向型共同研究のあり方について（概算要求を含む）佐野委員長から、平成 19 年度の双方向型共同研究の公募採用および予算計画について説明があり、了承された。

平成 19 年度の実験計画については水内委員から説明があり了承された。

配布された資料について、研究代表者に最新版ができるたび配布することとした。

次年度計画の策定について佐野委員長から NIFS に提出する公募案の作成への協力が依頼された。

この内容と京都大学側の中期目標。中期計画との整合性はどうかとの質問があった。

これについてはこれまで整合するような文案になっていること、また、京大側には数値目標などの具体的な達成目標などが無いことなどが確認された。

公募審査をこの委員会で行おうとすると 1 月下旬あたりに必ず行う必要がある。日程調整を十分に行うよう意見が出された。

5 . その他

次回の開催日程については8月下旬、9月上旬をめどに調整することとした。